

ICT活用

小・中とも
全国平均を上回りました！

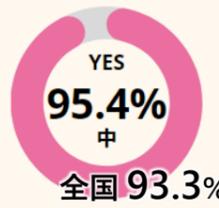
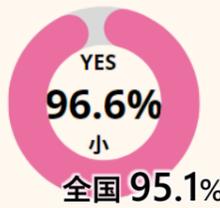
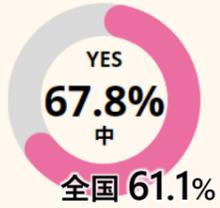
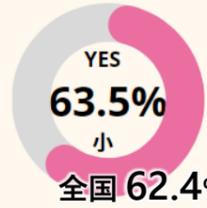
☆より効果のある具体的な活用方法を探りましょう！

- ◇資質・能力の育成に！
- ◇個別最適な学び・協働的な学びの実現に！

授業で週3回以上ICTを使用した。

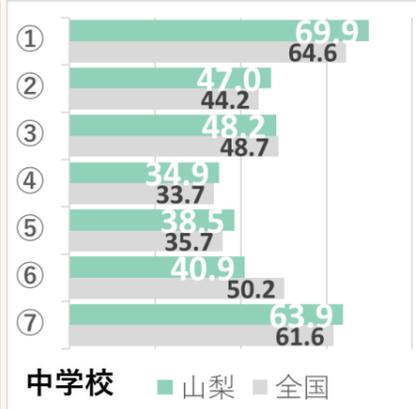
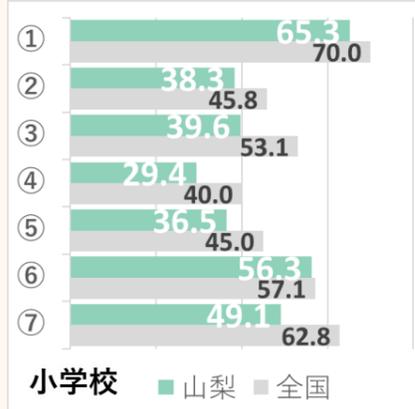
ICTは勉強の役に立つ。

ICTを活用した校務の効率化の優良事例を取り入れている。



ICT機器を週3回以上活用した取組を行った。

- ①自分で調べる
- ②自分の考えをまとめ、発表・表現する
- ③教職員とやりとりする
- ④児童生徒同士がやりとりする
- ⑤自分の特性や理解度・進度に合わせた取組
- ⑥学校外の施設にいる人々とやりとり
- ⑦教職員と家庭との連絡

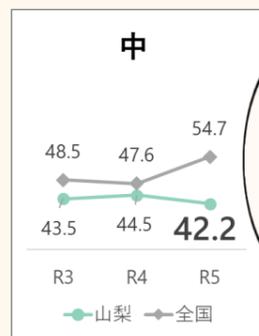
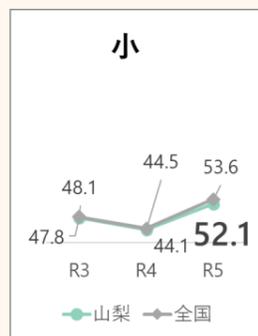
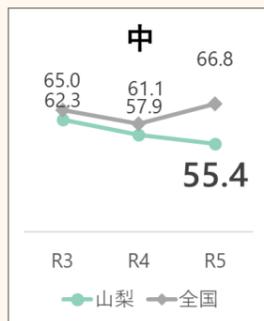
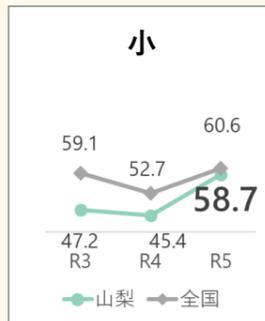


具体的な場面での活用が課題！

小中連携・地域連携

近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った。

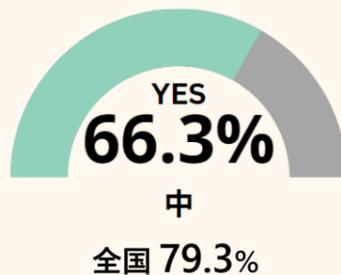
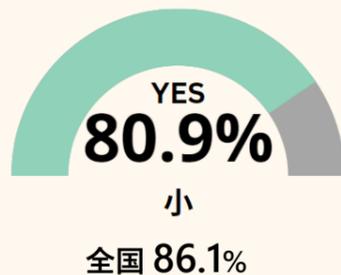
前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有した。



小中の連携、地域との連携を一層進めていきましょう。

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった。

小中ともに過去3年間、全国を下回っています。特に中学校は2年連続で減少しています。



児童生徒質問紙項目 ■ 学校質問紙項目 ■

児童生徒質問紙

先生は自分のよいところを認めてくれている

人が困っているとき進んで助けている

自分と違う意見について考えるのは楽しい

自分にはよいところがある

いじめはいけない

将来の夢や目標を持っている

いもいじゃん!やまなし23

児童生徒一人一人のよさや可能性を生かし 自己有用感を高める山梨の教育

学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題を与えている

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている

言語活動について、国語科を要として各教科の特質に応じて、学校全体で取り組んでいる

児童生徒は礼儀正しい

校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的継続的に参加している

学校質問紙

※ 質問紙において肯定的な回答が全国と比べて比較的高い回答

令和5年度 全国学力・学習状況調査

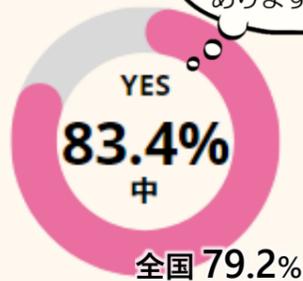
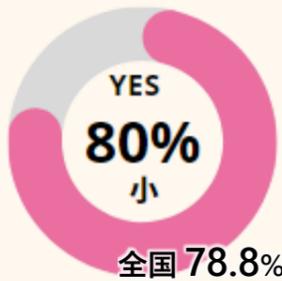
児童生徒質問紙調査 学校質問紙調査から

主 対 深 の視点からの 授業改善

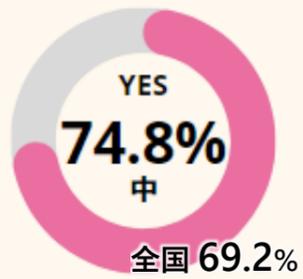
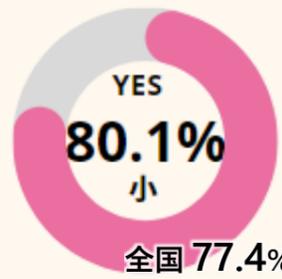
体的・ 話的で い学び

授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

肯定的に回答した児童生徒ほど、正答率が高い傾向にあります。*



分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。



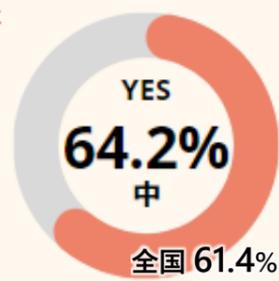
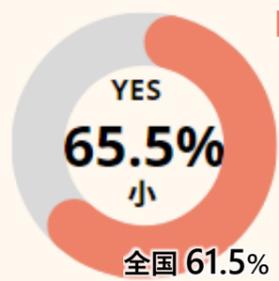
児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した。



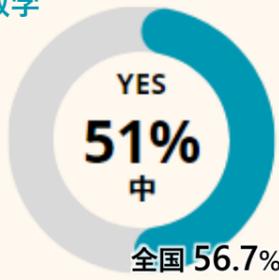
☆主対深の視点からの授業改善を！
☆個別最適な学び・協働的な学びの推進を！

☆各教科において、「各教科の勉強は大切」と回答している児童生徒は多いが、「各教科の勉強が好き」と回答している児童生徒の割合は、中学校の数学と英語では全国を下回っています。

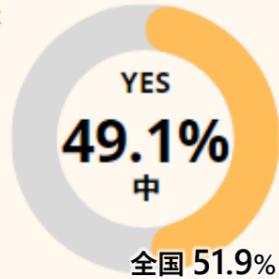
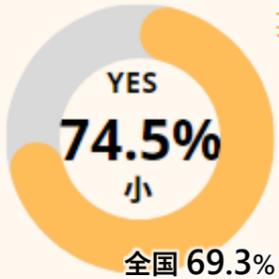
各教科の勉強が好きだ。



算数・数学



英語



各教科の勉強は大切だ。(山梨県のみ)

	国語	算数・数学	英語
児童	95.3%	94.9%	92.5%
生徒	94.1%	84.3%	88.9%

やまなしをみる！

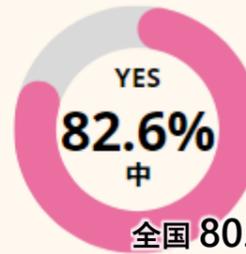
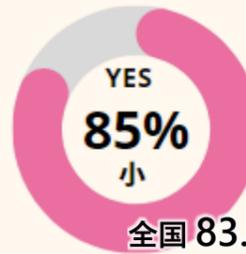
山梨県教育委員会では、授業改善による確かな学力の育成を推進しています。質問紙調査の結果から、山梨県の現状や課題を明らかにし、よりよい授業づくり、学習環境づくりの一助としていきます。

児童生徒質問紙項目 ■ 学校質問紙項目 ■

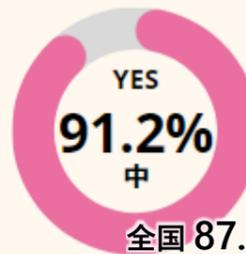
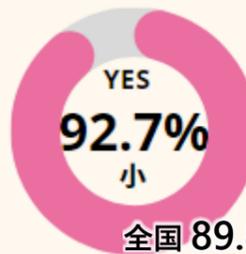
(各グラフの数値は公立学校の結果を集計した割合)

自己有用感

自分には、よいところがある。



先生は、あなたのよいところを認めてくれている。



☆日々の学級経営の充実を支えられた児童生徒の高い自己有用感がうかがえます！

学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行った。

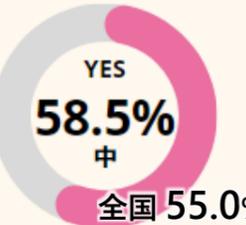
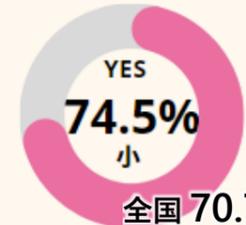


児童生徒が主体的に取り組む家庭学習を目指しましょう！

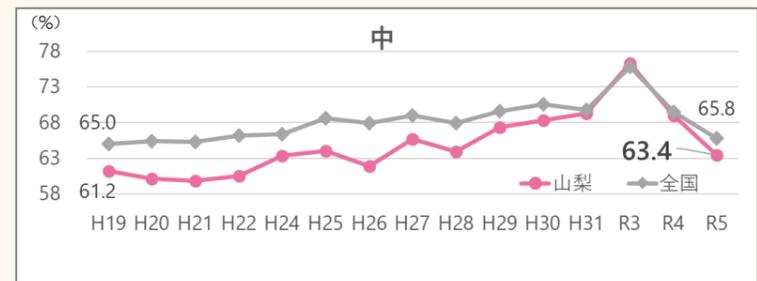
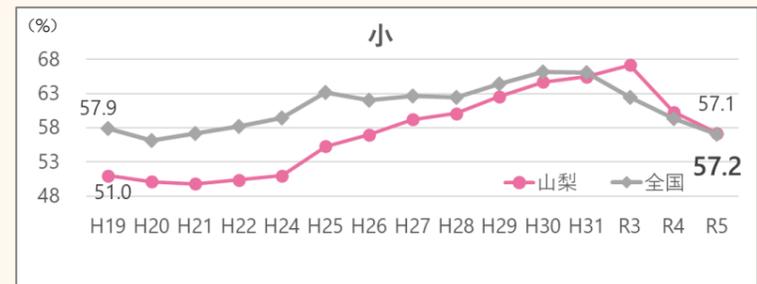
家庭学習

☆教職員の共通理解を図り、具体的な学習方法の例示やICTの活用などに継続的に取り組みましょう！

家で、自分で計画を立てて勉強をしている。



平日、1日1時間以上、勉強をしている。



読書が好きな児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。*

読書が好きだ。

